

令和元年度 第5回西区自治協議会会議録

日時：令和元年8月26日（月）午後 3:00～

会場：西区役所健康センター棟3階大会議室

< 1 開会 >

（下川会長）

開催の前に皆さんにお諮りしたいのですが、報道関係の方から取材の申し出がありました。許可したいと思います、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

それでは取材を許可しますので、よろしくお願いいたします。

< 2 議事（1）部会の状況報告 >

（下川会長）

議事に入ります。最初は部会の状況報告です。今回は第2部会と広報紙特別部会、アートフェスティバル特別部会、休会のため、第1部会と第3部会だけの報告となります。

第1部会の風間部会長からよろしくお願いします。

（風間委員）

第1部会の風間です。報告いたします。第1部会の所管分野は防犯・防災、自然環境、住環境等でございます。令和元年度の第5回の会議が去る8月8日木曜日午後1時半から約1時間、西区3階の303号室で開催されました。出席者は記載のとおりでございます。

主な議事の内容でございますけれども、新年度から私ども第1部会がメインテーマとして取り上げております「管理不全な空き家にしないための取り組み」について、残念ながら採択はございませんでしたので、自治協議会提案事業として取り組むことを決定しました「管理不全な空き家にしないための取り組み」については、別な形でパネルディスカッション形式による地域での取り組み事例紹介等を行うシンポジウムを開催するということを計画いたしまして、現在、その意見交換を行っているところでございます。委員から出ました意見の内容を、梓の中に三つほど掲載しております。読み上げますが、パネルディスカッションについて、会場との双方向型にするなど、工夫が必要ではないか。それからパネルディスカッションの前段として、市の現状や取り組みの話を入れてはどうか。それから空き家管理や管理不全な空き家にしないための取り組み事例についての情報としては、直接的ではないが、転入者の受け入れを積極的に行っている事例があるというお話等がございました。

これについては、一番下に書いてあります、次回の第1部会の開催が9月10日火曜日の午後3時から開催されますので、その部会の中で再度検討いたしまして、シンポジウムの開催日、それから開催会場、そしてゲストとして出演をいただける皆様のことにつきまして部会で検討いたしまして、9月27日の本会で部会案として提案する予定になっております。

それから、2番の「その他」では、西区の区民生活課から西区一斉クリーンデーについての説明がありました。それから、総務課から新潟市犯罪発生状況についての説明がありました。第1部会からの報告は以上でございます。

(下川会長)

ありがとうございました。ただいまの報告について、ご意見・ご質問はございませんか。いかがでしょうか。ありませんか。

続いて、第3部会の岩脇部会長からお願いいたします。

(岩脇委員)

第3部会の部会長の岩脇です。報告いたします。開催日時は8月9日午後3時からでございます。出席者は記載のとおりでございます。

主な議事の内容につきましては、1、西区拠点商業活性化推進事業計画についてということでございます。担当の農政商工課より、今年度末が計画期間満了である西区拠点商業活性化推進事業計画の概要や改定スケジュールについて説明があり、区の魅力である「内野」や「黒埼」といった拠点商業地の活性化に向けた取り組みについて確認いたしました。

今後、これらの地域も含めた区の魅力を発信していくにあたり、どのように審議を深めていくか部会員で意見交換を行いました。意見交換の内容は括弧の中に書いてありますので、事前配付している関係で省略させていただきます。なお、今後の進め方については、事務局から提案がございますので、それを確認することによって、内容を進行したいと思っております。

2、西区生活交通改善プランについて、地域課より今年度末が計画期間満了である西区生活交通改善プランについて、その検討を行う西区地域公共交通会議に自治協議会から委員選出を行うこと及び改定スケジュールについての説明がありました。

3、その他、加野委員からは、支え合いのしくみづくりの研修会の案内と説明がありました。

次回の開催は9月6日、15時からということでございます。

(下川会長)

ありがとうございました。ただいまの報告について、ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。ありませんか。

ないようですので、会議概要は無いのですけれども、続いて広報紙特別部会の佐野部長から報告があるということですので、よろしくお願いします。

(佐野委員)

広報紙特別部会です。皆様のお手元に今回、「西区を豊かに」第 30 号が配付されていると思いますので、ご覧になっていただけますか。今期初めての広報紙がやっと完成いたしましたので 9 月 1 日、新聞紙折り込みという形で発行されます。今回のコンセプトはやはり装いも新たにスタートということでしたので、より自治協議会を知っていただくために、より親しんでいただくためにということで、分かりやすい紙面づくりをコンセプトに取り組んでまいりました。いかがでしょうか。また、たくさんのご意見もお寄せいただきまして、ありがとうございました。また次回からも頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(下川会長)

ありがとうございました。ただいまの報告について、ご質問・ご意見ございましたらお願いいたします。ありませんか。淡々と進めさせていただきます。

続けて、地域課題解決に向けた事業募集の状況について、西区の宝サポート事業の進捗状況について、地域課からお話をお願いいたします。

(堀地域課長)

地域課の堀でございます。次第にはございませんけれども、今年度の「西区の宝サポート事業」で採択しました三つの事業につきまして、現在の進捗状況を私から報告させていただきます。

お手元の A 4 縦の資料 1 - 2 をご覧ください。こちらは、6 月の本会で皆様にお示ししておりますものと同じ資料でございます。現在、各部会や審査会におきまして、皆様からさまざまな意見をいただきました。その意見を踏まえながら、各団体と打ち合わせを進めているところでございますが、本日は現在の状況や変更点などを簡単にお知らせさせていただきます。詳しくは 9 月の各部会で報告させていただきたいと思っております。

まず、1 つ目の事業テーマ「地域の担い手育成等」に関しまして、「NPO 法人まちづくり学校」と「地域内の関係づくりと自治活動への参加を促す行事カレンダーづくり」に取り組んでまいります。表に記載のとおり、当初の団体からの提案では「研修はコミ協対象、カレンダー作りを自治会でモデル的に実施」としておりましたが、「対象を自治会単位とするか、コミ協単位とするか調整が必要」というご意見を審査会でいただいております、その辺りを実施団体と意見交換させていただきました。

意見交換の結果、地域の担い手育成につきましては、まずは住民の皆様が一番身近な自治会への活動参加を促進することが重要であり、それがコミ協、ひいては自治協議会にも繋がっていくものではないかということになりまして、研修会・カレンダー作りともに自治会を対象として実施させていただきたいと思っております。

今後でございますが、10月にまず既存活動の見直し方法などに関する研修会を開催いたします。その後、研修会に参加いただきました複数の自治会から、研修内容を活用しながらカレンダー作りに取り組んでいただく予定としておりますが、そうした一連の作業は、見学もできるようにするなど、より多くの自治会が関われる仕組みを今、検討しているところでございます。

続いて、二つ目の事業テーマ、「支え合いのしくみづくりの輪を広める取り組み」といたしまして、「大人向けプログラミング勉強会」と『『プログラミング教育』を通じた教育支援環境の構築と人材活用』を実施してまいります。この事業に対しましては、「より多くの方が参加・交流できるよう、地域全体での支え合いに繋がる工夫を」というご意見を審査会などでいただいております。これを受けまして「親子講座」とあります部分、こちらを祖父母などのシニア世代も参加できるように、いわゆる多世代交流が図れるようにという見直しを団体にお願ひし、そのような形で10月から開始する予定としております。

なお、この2番目の事業につきましては、事業に対する理解をより深めていただくために、来月9月の第2部会で、部会委員と実施団体との意見交換を行う予定です。

三つ目のテーマ「区の魅力発信・賑わい創出」は、「越後新川まちおこしの会」による、「西区の歴史・文化・技術の記憶を200年後の未来の人々へつなぐ」という取り組みを進めてまいります。

この冠のもとで、団体では記載のとおりでございますが、「歴史展示とマップの作成」、それから「踏み車体験」、「新川開削物語の映像化」といった事業を今年度実施していきませんが、私ども自治協議会のサポート事業に関しては、このうち「新川開削物語の映像化」の部分、空撮とかDVDの作成などになりますけれども、この部分に特化し、その他の事業については自主財源や他の補助金を活用しながら、全体として新川の歴史を発信していくということになりました。

事業そのものはすでに動き出してございまして、映像化DVDの完成は2月末を予定していると伺っております。

以上、この「宝サポート事業」につきましては、引き続き私ども事務局におきまして委託契約などの事務手続きを進めながら、委員の皆様からも、それぞれの事業がよりよいものになりますよう、お気づきの点がありましたら部会などでお知らせいただきたいと思います。あるいは当日運営のサポートなどにもご協力をいただきたいと思いますと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。

(下川会長)

ただいまの報告について、ご意見・ご質問がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

< 2 議事（2）第7期西区自治協議会運営方針 >

（下川会長）

続きまして、議事（2）第7期西区自治協議会運営方針ということで進めさせていただきます。お手元の資料2をご覧ください。

この件につきましては、私から説明させていただきます。今までも口頭ではお話しさせていただいておりましたけれども、第7期の西区自治協議会を運営していくにあたり、運営方針のようなものが形としてあったほうがよいのではないかという思いから運営方針（案）をまとめてみました。

現在の私たちの取り組み状況を踏まえ、第7期の自治協議会として、こういうことに取り組んでいます、これから取り組んでいきますというものをまとめたものになります。

1番「第7期自治協議会運営方針」の部分をご覧ください。四角で囲んであります。ここには、「委員一人ひとりが地域課題を出し合い、委員一人ひとり知見やアイデア等を出し合って、みんなで地域課題解決に取り組めます。」というものを運営方針として出しました。このことを言っているのは、参加している委員みんなが主役ですよということを言っているのです。みんなで意見を出し合って、みんなで考えていきましょうという方針をまとめたものでございます。

続いて、2番「重点的に取り組む地域課題等」として、①支え合いの取り組みは、先回もいろいろ話し合いをしているわけですが、除雪ということでやったのですが、除雪だけではなくて、もっと広い範囲での支え合いのしくみづくりの輪を広げるためのアイデア実現に向けて、今回の話し合いでは、自治協議会として取り組む具体的アイデアについて話し合いたいと思います。これは続けてやっていきます。今回、入ったときに分かったと思いますけれども、会場のレイアウトも最初から島形式に変えてあります。したがって、委員同士で36名の中で一人ひとりが発言するのではなくてグループごとに話をしやすい雰囲気にしております。委員一人ひとりが意見を出し合って、みんなで具体的なアイデアを出していきたいと思います。令和元年度は、その他のテーマ、②番、③番、④番についても今ほど堀課長が説明したとおり、西区の宝サポート事業のテーマとして事業募集を行い、課題解決に向けて取り組んでいくと。進捗状況については本会議において確認をし合っていきたいと思います。

3番目と4番目については、第1回、それから第2回の本会議において文章化されたり、地域課から詳しく説明を受けている項目、全市共通の自治協議会とは何か、位置づけや役割の説明でございまして、よろしくお願ひしたいと思ひます。

そういうことで進めてまいりたいと思ひますが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

ありがとうございます。そういうことでこれらを、今まではこれはなかったのです。運営方針ということで進めてまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願ひしたいと思います。

<2 議事(3)第2回「支え合いの取組み(除雪時等)の輪を広げるためのアイデア実現に向けて」>

(下川会長)

続いて、議事(3)第2回「支え合いの取組み(除雪時等)の輪を広げるためのアイデア実現に向けて」という議題でございますが、これからの進行については、前回は進めてまいりました加野委員に進行をお願いしたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

(加野委員)

会長も副会長の各グループに入ってもらいたいと思ひます。

西区支え合いのしくみづくり推進員の加野です。先回の自治協議会では、今日の話合いの練習をしました。今日、本番ということで、支え合いの取組みの輪を広げるためのアイデアを今日、さらに出していただき、そして絞っていただきたいと思います。

今、グループワークに必要なものを配っていますので、各グループで受け取ってください。これからグループごとに検討していただきたいと思ひます。はじめに個人作業ですけれども、まずはアイデアを皆さん頭をふり絞って出していただければと思ひます。一つのアイデアにつき一つの付箋で、支え合いの取組み、雪が降ったときとか、降る前にこういうことをしたらいいのではないかなとか、そういったアイデア、または雪が降ったり降らなかつたりする年がありますので、雪が降らなくても、これをやっておくと地域の交流とか、地域の助け合いが進むよねというようなことを個人で出してください。これは恥ずかしいなというようなものも、どんどん出していただければと思ひます。

ポイントなのですけれども、模造紙を二つ折りにしてあるかと思ひますが、実際、個人作業のときはまだ貼らなくてもいいのですけれども、次に貼るときには、これは地域で取り組みそうなアイデアだよねというものを左側に。これは自治協議会で取り組みそうだよねというものを右側に貼っていただきたいと思いますので、これからのアイデア出しも両方の視点で。特に自治協議会でやりたいよねというところはなかなか出すのは大変だと思うのですけれども、これならこの自治協議会で、こういうことができるのではないかなというものを、ぜひアイデアを出していただきたいと思ひます。

では、各それぞれ付箋はお手元でございますでしょうか。ペンもできれば配ってある黒っぽい細いサインペンで書いていただけると。鉛筆だと見づらいので黒い細いペンで書いてください。1付箋1アイデアですので、どんどんアイデアを書いていただければと思ひます。こういうものをやったらいいのではないかなとか、この前、地域でこういうことを

やったら雪のときに役に立ったよみたいなことをどんどん書いていってください。5分です。35分までやってください。個人作業です。今日の資料の裏側に、この前出たアイデアの付箋出しがありますので、この中で、これいいわというものを写すのもいいです。それから初めてまた自分の独自のアイデアを出していただければと思います。5分お願いします。

(アイデア出し)

(加野委員)

5分経ちました。まだまだアイデアが湧き出てくると思うのですが、話し合いしながら、思いついたものがあれば、また書き足していただければと思いますので、よろしくをお願いします。

次に、皆さんが書いた付箋を、このように模造紙を使っていただいて字のきれいな人から上のタイトルを書いていただいて、「地域」と「自治協」みたいに書いていただいて、このように模造紙を使ってください。この模造紙の位置で、例えば、「西区社会福祉協議会の加野です、私はこういうアイデアを出しました、これは多分地域です」と言って置いてください。それを一人ひとり発表していただければと思います。

次の展開のこともあるので、これは結構すぐやれそうというものを上のほうに。これはなかなか時間がかかりそう、手間がかかりそうだけれども頑張りたいなというものを下のほうに。そんな感じのイメージで付箋を置いていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

各グループ進行役が事前に、あなたよろしくねというふうに言われていると思いますので、進行役の方が中心になって進めていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

(一人ずつ発表)

(加野委員)

あと二、三分で各それぞれの発表を終わりにしますので、まだ全然進んでいないところはスピードアップしてください。あとは降雪時にとらわれてしまって、雪がないとこれはできないよねみたいなものもあると思います。例えば雪が無くても、これをやっておけば地域の防災や交流のために役立つよねというようなアイデアも入れていただければと思いますので、雪にとらわれすぎずをお願いいたします。

一回りしたところは、この意見は似ているよねとか、これとこれは同じ感じだよねとか、これはすぐやれそうだねという配置をいろいろ考えてください。あと1分ほどで一人ひとりの発表を終わりにします。

(一人ずつ発表)

(加野委員)

では、次にいきたいと思います。皆さん意見を出していただけたと思いますけれども、特に自治協議会で取り組めそうなアイデアのうち、これはうちのグループイチ押しというやつを大きく丸をつけてください。すぐやれそうなことは水色っぽい色の丸、これはちょっとなかなか段取りは大変だけれども頑張りたいなというものはオレンジの丸を自治協議会で取り組めそうなアイデアのうち、この二つ、イチ押しを丸をつけてください。グループで話し合っ、これがイチ押しだよねというものに丸をつけてください。自治協議会のほうです。

ただ、自治協議会のほうはあまり出なかったよというグループ、例えば地域でこれに取り組めそうだなというやつを、これを自治協議会で広めるというパターンもありますので、地域でやれそうなもののうち、これを自治協議会という組織を使ってうまく広めるというふうに考えていただいても大丈夫です。すぐやれそうなことと、ちょっと時間がかかるけれども頑張ってみたいことに丸をつけたら、それについて詳しく、もっとこうやったらいいのではないか、ああやったらいいのではないかというのを皆さんで出し合っ、空いているところに書き込みをしてください。こういうふうな対象でやったらどうかとか、こうやったらもっと面白くなるよ、みたいな、いろいろ事業のアイデアを書いていただければと思います。場合によっては出てきたアイデアをつなげたりとかもいいと思います。これはイチ押しというものと、それについて詳しくお話をしていただければと思います。4時15分までお願いいたします。

(グループで話し合い)

(加野委員)

そろそろまとめに入っただきまして、このあと各グループで発表していただきますので、誰が発表するのかとか、どんな話で発表するのかみたいなものを4時15分までに決めていただければと思います。

イチ押しをちゃんと決めてください。発表のときにメインでそれを話をしてください。

あと1分、2分ほどでまとめていただい発表者は決まっていますか。誰が発表するかも決めてください。

(グループで話し合い)

(加野委員)

16時15分になりますので、発表にいきたいと思います。一番最初に発表したいところ、どうぞ。前に出てきてください。

(第1グループ 発表：渡辺委員 メンバー：寺瀬委員、大谷委員、高橋由紀子委員、藤橋委員、長谷川委員、櫻井洋子委員)

第1グループです。第1グループでは、地域で取り組みそうなアイデアの中で、イチ押しは、自治会の中で、困難者の方を民生委員の方に探してもらおう。民生委員の人に、困ったことはありませんかというふうに声かけをしてもらって、いろいろなことの困難者を探し出していくというのがイチ押しです。

すぐにできそうなこととしては、自治会の中の会議でいろいろ話し合ってみる。自治会で対策等を取り決める。自治会の中で対策を決める。班会議で話し合う。これはすぐに自治会の中でできそうかなということでした。

頑張ってみたいことは、中学校と連携をして、中学生に地域でできることや、やってみたいことを考えてもらって実行に移してもらおう。

それから、自治協議会でできることのイチ押しは、標語を考える。住民同士の声かけやあいさつがスムーズにできるような標語、看板の設置をする。

すぐにできることは、雪の季節になったら、「ぜひ車の中にスコップや麻袋を入れて走ってもらいたいです」ということを広報紙を活用して皆さんに周知してはどうかということです。

これはちょっと外れるのですが、行政要望で、除雪が上手ではないと。同じところを行ったり来たりしていて、きれいに除雪がされていないという意見がありました。

民生委員から声かけをしてもらおうということは、自治協議会と一緒にやっていくことでスムーズに行われるのではないかという意見でした。

(加野委員)

ありがとうございました。次のグループから発表していただきたいと思います。

(第2グループ 発表：長澤委員 メンバー：田村委員、岩沢委員、高田委員、木村委員、澤邊委員、原澤委員)

私たちが第2グループになります。第2グループも言葉づかい、表現は若干違うかもしれませんが、第1グループとほぼ同じことを話しているのではないかなと思います。

まず、地域で取り組みそうなこととして自治会単位、町内会単位で見ました。すでに個々の町内会で良い事例がありまして、除雪に対する事例の話が出まして、自分たちでは対応できないものについては外部団体に委託をして、すでに除雪をする体制をとっていらっしゃる場所がありました。あとは各自治会で、ごみの件とか除雪の件の協力の体制をとっていったらどうかということと、あとは自治会ごとに地域のお助け隊というものを

作ったらどうかという具体的な話が出ました。小学生、中学生が登校時、通学路を確保するためのお手伝いが何かできないかという話が出まして、やはり自治会全体で高齢化も進んでおりますので、小学生、中学生、また高齢者も含めた多世代でいろいろな問題に取り組んでいる形がとれないかという話が出ました。

すぐに取り組めることとしては、実際、実績を積んでいらっしゃる事例をもとに個々の町内で対応していくということが、すぐに取り組めることではないかということと、もちろん多世代交流もそういうことでございます。

この多世代交流の中で、すでに自治会が子ども会、老人会、地域の茶の間の活動を常時していらっしゃる子どもたちやお年寄り、そういう皆さんの横のつながりを持つ機会は設けられないかと。それを含めた多世代交流というものを進めていったらどうかという話が、これがイチ押しの課題として挙げました。

自治協議会として、すぐに取り組めそうなこととしては、これは一つの事例ですけれども、各自治会に住んでいらっしゃる住民の皆さんの状況調査、例えば一人暮らしの高齢者で緊急時には一人では避難が難しいとか、普段はお元気なのだけれども、ちょっと足が不自由で、ごみ捨てに苦労されているとかというような、まず地域の状況を調査する方法として自治協議会が一つのモデルを提案できないかと。それを各自治会に情報収集をしてもらって、それを集約して活用してもらおうというようなことができないかということと、あとはイチ押しの案として、私は大変面白いなと思ったのですけれども、まず町内会長さんだけでもメールでやり取り、それぞれの町内会長さん同士でメールでやり取りをして情報の交換ができないかということと、また、そこに住んでいらっしゃる住民の皆さんに一斉メールで情報提供ができないかという話がありました。SNSの活用とかLINEの活用とかという話も出まして、これはすぐには対応が難しいかもしれませんが、学童のプログラミング授業で地域住民も参加してというふうな提案も出ておりますので、この辺も難しく考えずに、まず活用する方法はないかなというところから話し合っていければなということで、私は大変興味を持って、これはイチ押しにしていきたいと思います。

総括としては、個々の自治会で成功していらっしゃる事例もありますし、また、同じような対応ができるのかできないのか悩んでいらっしゃるような自治会もあろうかと思えます。ぜひ自治協議会が一つのモデルケースはこうですよということで提案を試みたり、情報を取るときも、いろいろな個人情報のプライバシーの問題とか、いろいろありますけれども、それに抵触しない中で、こういう情報の取り方がありますよというようなことで、各自治会のほうに提案をして、それによって得た情報をまた吸い上げて、問題があれば区役所の職員の皆さんとか専門家を交えて問題を解決したものを、またフィードバックしていくというような体制が大切ではないのかなというところが2班の取りまとめでございました。

(加野委員)

ありがとうございました。続いて、やりたいところ。

(第3グループ 発表：神田委員 メンバー：橋本委員、下川委員、五十嵐委員、藤丸委員、郷委員、佐野委員、櫻井圭子委員)

3班です。3班では、まず高齢者世帯の把握、回覧板等で現状の把握をして、何が困っているのかというのを把握していくやり方を考えたら、すぐにできるのかなというところ
です。

小・中学生にお助け隊の意義を伝える。意義を伝え、小学校高学年、中学生にも参加してもらい、行事の中に取り入れる。学生等に働きかけ、多世代交流の輪をつくる。今ある自治会行事にプラスアルファを味付けすることによって複合的に取り組める活動にする。結果、中学生を中心としたグループを作ったり、お助け隊を作ったり、自治会に青年団のようなものを作ったりという、さまざまなグループを作り、一緒に活動できるお助け隊のようなものを作り上げるという意見になりました。

あとは向こう三軒両隣の声かけ活動。各班ごとに顔合わせをして知り合う。年に一度は自治会の班、自治会全体ではなく回覧板を回しているような小さいグループ、班で顔合わせをして、向こう三軒両隣の顔をよく知るところが大事なのではないかという意見が出ました。

自治協議会で取り組めることとしてイチ押しは、現状ある中学生の地域デザイン講座に「支え合い」をテーマに講座を考えてもらうといった意見がありました。これは今区役所がやっている中学生の「出動！西区地域盛り上げ隊！（中学生みらいデザイン編）」というものがあるので、そこで「支え合い」というもの考えてもらうことによって、すぐに若者の発想を実現できる。それを時間はかかるかもしれないのですが、中学校の中にボランティア隊というものを作っていいなという意見が出ました。

それから12月15日発行の広報紙で特集記事を組む。これはすぐに実行していきたいということです。これに伴って2年後には自治協議会でアイデアをまとめた冊子を作って自治会へ配るといものを実現できたらいいなというふうになりました。

最後に、ネット社会において情報社会をどう生きるか。ネット社会でネットの情報だけでは、ついていけない高齢者の方などがいらっしゃるので、そういう情報をネットにおいて、それをどうやって見るかとか、どうやって情報を知り得るかというやり方なども含めて、そういうものを相談できる窓口や、そういう対応をしていただける人を置いてほしい、考えてほしいという意見。それを踏まえて、地域の老人会や地域の茶の間に働きかけ、こういうところでも情報の交換ができたらいいなという話になりました。

(加野委員)

ありがとうございました。最後のグループから発表させていただきます。

(第4グループ 発表：山賀委員 メンバー：風間委員、田中委員、高橋伸絵委員、杉原委員、坂井委員)

こんにちは。4班です。まちづくり学校の山賀と申します。4班から出てきたアイデアは、地域で取り組みそうなものと、自治協議会で取り組みそうというものに分けてあります。

まず、地域で取り組みそうなものなのですけれども、除雪に関して付箋に青いマークをつけておきました。地域の中では、雪捨て場を予め決めておくとか、ごみステーションは近い人にやってもらうというのもありましたけれども、地域の中で人材を確保しておくというところが結構出てきて、ボランティアを登録しておくとか、向こう三軒両隣で除雪メンバーを決めておくとか、それから共助組織を作る仕組みを作ってしまうというような意見がありました。

地域の中で、この除雪のときに向けてといたしますか、いろいろな取組みに対してなのですけれども、まず日常的に支え合いの取組みの輪を広げるということで、やはり日常的に顔の見える関係を作っておくことが大事だというのがありまして、お茶の間とか、ラジオ体操というものを、もっと世代間交流ができるような場にしていくのがいい。もうすでにやっていたらしゃる方もいらっしゃいます。そうした場も、やるべきイベントをもっと楽しくして参加を増やしていくような手立てを打っていったほうがいいということで、楽しめる防災のイベントとか、公園清掃のときに避難訓練をやってしまうとか、そういうふうな楽しみながらやることで参加を促して関係づくりを進めていくのがいいのではないかといいことがありました。

それから、日頃から地域の状況をしっかり把握しておくということも大事だよなというのが出てきて、いろいろな地域の状況というものを押さえておきましょうというのがありました。こうした地域の状況を把握したということ踏まえて、自治協議会のほうにもつながっていくのですけれども、そういった情報を発信して共有していくということ、これは時間がかかるけれども頑張ってやっていきたいということが出てきました。

具体的には、除雪が必要な箇所のマップを作るですとか、それからハザードマップなど、学校のほうの教育で副教材を作ったりというようなこともありましたし、その地域の取組みを発信するポータルサイトといたしますか、ここに行けば情報が得られるよというようなサイトを作ってしまうとか、そこをもとに雪が降ったときには、いろいろな情報がいろいろな人に流れるような仕組みを作るというようなことが出てきました。

それと、すぐにできるのではないかといいことでキャンペーン実施というものがあります。普段、自分の家の範囲でやる除雪プラスアルファ15分、地域のために公共の場のところの場所を15分間キャンペーンとして除雪しましょうということをやったりとか、ひとかき運動ですとか、休日一斉雪かき日などが出てきました。

あとは除雪グッズ売り場に、歩道とかごみ捨て場もやりましょうというパンフレットを作ったり、転入してきた人たちに知らせるというようなことも出てきました。こういうふ

うなキャンペーンをやるにしても、やはり何かしらやった感と言いますか、達成感みたいなものがないと、なかなか続けるというのは難しいところもあるので、今日やったよみたいなカレンダーを作る。スタンプカードみたいなものを作るというのがありますし、あとは皆さん、ジョセササイズを知っていますか。除雪は労働ではない、エクササイズだというように、西会津で生まれた取組みなのですけれども、除雪を労働ではなくてエクササイズ代わり、筋トレになるぞという感じで楽しみながらやるというので、実はアプリも出ていて、アプリを持って除雪をすると消費カロリーがいくつとか、ポイントが何個上がるとか、それにハマってどんどんやる人が出てしまうので、ランナーズハイとかあって倒れる人もいるのですけれども、除雪ハイとかに気をつけましょうみたいな感じで、すごく楽しく除雪をやるという取組みがあるのです。そういったことを取り入れて、とにかく楽しくできる、広げられるようにするというふうにしてはどうかという案が出てきました。

(加野委員)

ありがとうございました。本当にいろいろな意見が出て、これから自治協議会でどんな取組みをしていこうかと、いろいろアイデアが膨らんで楽しみになってきました。

今後なのですけれども、皆さんから出していただいた中のもので、特にイチ押しなものとかを、こちら事務局のほうで検討しまして、実際、具体的に事業化していくときには、こんなふうにやったらいいのではないかという事業案みたいなものを部会、多分少人数のほうで話し合いしやすいと思いますので、いろいろな部会にご相談させていただきながら、事業化について目指していきたいと考えております。

今日は本当に皆さん、積極的にご発言いただき、またグループワークをしていただきまして、どうもありがとうございました。以上で、支え合いのしくみづくりは終わります。

(下川会長)

いろいろなご意見をご討議いただきまして、本当にありがとうございました。やはりこういうふうにグループ分けにすると、結構みんな活発な意見が出るようで、こういうものをたまにやらないとだめだなと。いい会合でした。ありがとうございました。

< 3 報告事項 (1) 消費税率引き上げに伴う区バス当運賃の改定について >

(下川会長)

次は、報告事項になります。当日配付資料の1番を見ていただきますと、消費税引き上げに伴う区バス等運賃の改定について、地域課から説明をお願いいたします。

(堀地域課長)

私から報告を2点させていただきます。はじめに、区バス・住民バスの運賃改定についてです。この運賃改定につきましては、今月8日に西区の意見交換会を開催いたしまして、

それに基づいて 22 日の新潟市地域公共交通会議で合意を得ることができましたので、本日、報告をさせていただきます。当日配付資料 1 と記載されました A 4 縦の資料をご覧ください。

1 番の「経緯」です。今年の 10 月 1 日から消費税率が 10 パーセントに引き上げられる予定でございます。それに伴いまして、区バスや住民バスの運行経費の増加が見込まれますことから、新潟交通路線バスの運賃改定に伴いまして、区バス・住民バスの運賃改定も併せて行わせていただくものでございます。

私ども行政主体で運行しております区バスにつきましては、新潟市全体の方針に基づく形になります。また、地域住民の皆様で組織する地域交通団体が主体となっております住民バスにつきましては、地域交通団体、それから交通の事業者、それから私ども市の 3 者協議に基づきまして運賃改定を実施させていただくことといたしました。

2 番の「運行概要」の（1）運賃の変更の一覧表をご覧ください。西区には、区バスといたしまして中野小屋ルートと坂井輪ルート、住民バスとしましてコミュニティ佐潟バス、それから内野上新町バスの四つの路線がございますが、そのすべてにつきまして運賃改定をさせていただきます。

まずは、独自の路線で定額運賃で運行しております区バス坂井輪ルートと、住民バスのコミュニティ佐潟バスについて説明いたします。表に記載のとおり区バス坂井輪ルートは、現行の大人 200 円、小学生以下 100 円から、大人 210 円、小学生以下 110 円に。それから、住民バスのコミュニティ佐潟バスは、現行の小学生以上 100 円から 110 円に変更し、いずれの定期券も運賃に応じて変更するものでございます。

また、表の一番上の区バス中野小屋ルートと、表の一番下の内野上新町バスは、変更後のところが米印となっておりますが、それぞれ新潟交通の大堀線と寺尾線を延ばして運行している路線であるため、新潟交通路線バスの運賃に準じて変更することとなります。

続いて、資料の裏面をご覧ください。小型ノンステップバスの導入についてです。新潟市では、生活交通のバリアフリー化を推進するため、まずは市が事業主体となっております区バスのほうに高齢者あるいは障がいのある方も利用しやすい小型のノンステップ車両の導入を現在進めております。私ども西区におきましては、今年の 3 月から小型ノンステップバスを区バス坂井輪ルートの外回りに 1 台導入しておりますが、ご利用いただいている方からは、段差がなく非常に乗りやすいといった声をいただいております。今年 10 月 1 日から、この小型ノンステップバスをもう 1 台同じ坂井輪ルートの内回りにも導入いたしまして、2 台とも小型バスによる運行といたします。

以上、利用される方々が混乱しないよう西区の区だよりのほか、バスの車内への掲示など周知に努めてまいります。運賃の値上げもあり恐縮ではございますが、ぜひ皆様からも区バス、住民バスへのご理解、そしてこれまで以上のご利用をいただきますようお願い申し上げます。

(下川会長)

ただいまの報告について、ご質問はございませんか。よろしいですか。

< 3 報告事項 (2) 西区地域公共交通検討会議への自治協議会委員の選出について >

(下川会長)

続けて、報告事項 (2) 西区地域公共交通検討会議への自治協議会委員の選出について、地域課から続けて説明をお願いいたします。

(堀地域課長)

続きまして、右上に当日配付資料 2 と記載された同じく A 4 縦の資料をご覧ください。西区では、新潟市全体の計画であります、新潟都市交通戦略プランに基づく具体的な実施計画といたしまして、生活交通改善プランを策定し、区バスをはじめといたします生活交通について、暮らしやすく、また持続可能なものとなるよう維持あるいは改善に取り組んでおります。

本日の会議の冒頭、第 3 部会の岩脇部会長から報告いただきましたように、現行のプランが平成 27 年 4 月からの 5 か年計画となっております、今年度でその期間が満了となるためプランの改定を予定しています。改定の内容を検討する会議に、地域のご意見を反映させるという趣旨から、自治協議会の委員の皆様からもご協力いただきたいと思いますので、改正の概要と併せまして、本日報告をさせていただきます。

資料の 2 番「新たな『生活交通改善プラン』について」をご覧ください。(2) の計画期間でございますが、令和 2 年度からの 3 か年でございます。これは新潟市の総合計画であります「にいがた未来ビジョン」や「区ビジョンまちづくり計画」の計画期間に準じております。

次の (3) の改定の視点でございますが、今回の改定は、先に申し上げました新潟市全体の計画に示されます基本方針に基づいた見直しを行うとともに、現行プランの取組みの評価、それから現状と課題の再確認を行ってまいります。

(4) でございます。現行プランの策定時と同じように、検討会議を組織し、見直しなどを行ってまいります。この会議には、自治協議会からの選出委員のほか、運輸局、交通事業者、市の関係課で構成されます。

恐れ入りますが、資料の裏面をご覧ください。プランの策定当時もそうでしたが、今回も自治協議会から、交通を所管分野とする第 3 部会を中心として委員をお願いさせていただき、第 3 部会長の岩脇委員、副部会長の杉原委員、そして部会は関係なく、坂井輪、黒崎、西のそれぞれの地区から高田委員、高橋由紀子委員、寺瀬委員。それから以下記載のとおり、住民バスの運行団体や交通事業者など様々な方に関わっていただきます。

資料のおもてに戻っていただきまして、(5) のスケジュールをご覧ください。会議は 10 月、11 月と開催いたしまして、翌年には完成したものを、この自治協議会で報告する予定

としております。より地域事情を捉えたプランとするために、見直しの経過につきまして、随時本会、自治協議会で報告させていただきますので、検討会議にご協力いただく委員の方はもちろんでございますが、会議に参加されない、それ以外の委員の皆様からも途中経過を報告させていただく際に、ぜひご意見をお寄せいただければと考えております。

(下川会長)

ただいまの報告について、ご質問はございませんでしょうか。よろしいですか。

< 4 その他 >

(下川会長)

次第の最後、「その他」でございますけれども、まず私のほうから1点だけご案内させていただきます。

本日配付してあるピンク色のチラシをご覧ください。「2019年度下期西新潟オープンカレッジ」と書いてある用紙でございます。実は、西新潟の市民会館では、教養学部と地域学部という二つのオープンカレッジを開催しております。本日は、教養学部で、私のほうも少しお手伝いさせていただいているのですけれども、下期の開催要項は、こういう4コースがございます。10月21日は「弁護士は見た!」ということで、鶴巻さんという弁護士の方がいろいろな、相続法が改正していますが、こういう問題とか、シニアの問題とか、高齢のところを話しています。

それから11月18日には「笑って心・体・脳まですこやかに」ということで、笑いヨガのティーチャーである村山さんという方が来られてお話ししていただいて、なんととっても笑うということは全体的に体のすみずみまで良くなるということでございますので、そんなお話で、ヨガと書いてありますけれども、別にヨガ体操をすとか、そういう難しいことはしません。あくまでも笑っていただくことに注力しておりますので、別に難しい体をねじ曲げたりとか、いろいろなことをするヨガではありませんので、気軽に参加してもらいたいと思います。

それから1月20日は、「會津八一入門」ということで、八一を知る、八一が分かるということをお話を新潟市の會津八一記念館の学芸員の湯浅さんという方が来られてお話ししていただきます。

それから2月10日は、「大相撲知れば知るほど面白い。観戦のための基礎知識」ということで、新潟産業大学の先生であられる片岡さんという方が来られます。

下のほうに書いてあるのですけれども、4回通しで買いますと1,500円コースです。1回だけ単発で受けたいという方は1回あたり500円です。ぜひこの際にいろいろと興味を持っていただいて参加していただくと有り難いと思いますので、皆さんにご案内をさせていただきました。私からの案内は以上です。ありがとうございました。

続きまして、支え合いのしくみづくり研修会について、加野委員からお話ししてください。

(加野委員)

皆様のお手元にクリーム色の「くらしの足をみんなで考える」というご案内のチラシが行っているかと思います。今、支え合いのしくみづくり推進員として動いている中で、各地域で免許を返納しなくてはいけないかなとは思いますが、買い物とか通院はどうなるのだろうかということで、免許返納しようと思ってもなかなかできないとか、実際、免許を返納して車が運転できなくなったのだけれども、そうしたらなかなか買い物の足、通院の足がなくて大変だというご意見を聞きます。ただ、ご意見を聞いても、じゃあどうしようというとなかなかできないのですけれども、今回、研修を企画しました、助け合いとか支え合いで、ちょっとした交通の足というものを考えられればというふうに考えております。もちろんバスや電車等、公共交通は大事なのですけれども、本当に家からバス停までも出られないというような、なかなか足腰が大変なのだという方々の足の問題というのはとてもこれから大きくなるかと思います。

9月30日に、西新潟市民会館で行います。全国で移動の支援の助け合い活動をしていらっしゃるって、いろいろな取り組みをしていらっしゃる河崎民子さんより全国の事例等をお話ししていただくとともに、新潟市の事例紹介ということで、事業所が行っている支援事例ということで中央区のデイサービスの方から、デイサービスは朝と夕方は車を使うのですが、真ん中の昼間はデイサービスの車は空いているのです。その空いている時間を使って地域での買い物支援、地域貢献ということで取り組んでいる事例、そして地域団体が行っている支援事例ということで、東区の自治会がタクシー乗り合わせで買い物の足を確保している、そういう事例をお話しさせていただいて、みんなで暮らしの足について考えていく研修会を企画しております。ご興味のある方はぜひご参加いただければと思います。

(下川会長)

ほかの委員の方から、何かお知らせとかお話ししたいことがありましたら、お願いします。どなたかありませんか。ないようです。

最後に、事務局から連絡をお願いいたします。

(地域課 伊藤課長補佐)

地域課の伊藤でございます。次回会議の開催日程についてご連絡させていただきます。本日お配りしましたお手元のA4の資料「令和元年度西区自治協議会 開催予定」をご覧ください。

次回、第6回自治協議会は、9月27日金曜日、午後3時からとなっております。会場は西区役所健康センター棟3階大会議室、ここと同じ会場となります。会議の議題等、詳細につきましては、運営会議と調整させていただいて皆様に改めてご連絡させていただきます。

続きまして、本日お配りしました資料をご覧ください。「潟普請」のお知らせです。9月22日の日曜日に開催されます。集合場所につきましては、佐潟公園あずまや脇に午前9時集合で、クリーンアップ活動を行います。参加をご希望される方は、9月6日金曜日までに地域課宛にご連絡ください。ご連絡の方法は、いつも出欠確認等とらせていただいているときの手法、電話なりFAXなりメールなり構いませんので、地域課宛にご連絡ください。

その他、本日お配りしました、各区自治協議会広報紙及びコミ協広報紙でございますので、後ほどご覧ください。

(下川会長)

ありがとうございました。皆さんから何か思いついたことはありませんか。大丈夫ですか。

これで、令和元年度第5回西区自治協議会を閉会したいと思います。本日は、ありがとうございました。

(終 了)